

いしうまだにこふん いしうま
石馬谷古墳と石馬（国指定重要文化財）

石馬谷古墳（小枝山5号墳）は米子市淀江町福岡に所在し、全長61.2mの前方後円墳で石馬が立てられていたと伝える古墳です。未調査のため埋葬施設は不明ですが、埴輪などから古墳時代後期中半（6世紀中半）に築造されたと考えられています。

石馬は、石製の埴輪の一種で大山の角閃石安山岩から削りだされ、現存で体長約150cm、高さ約90cmを測ります。石馬の前脚は失われていますが、手綱、鐙などの馬具を装着しており、一部に赤色顔料が残っており赤色に塗られていたと思われます。石馬は、福岡県の岩戸山古墳など九州北部に数例ありますが、本州では、この石馬が唯一のもので、古墳時代における九州との交流の一端をうかがい知ることのできる貴重な資料です。

現在は国の重要文化財に指定され、天神垣神社の収蔵庫に保存されています。年に数回、特別公開時や上淀白鳳の丘展示館へ依頼すると見学することができます。



石馬